

籾黄化率情報〔コシヒカリ（9月4日）〕

上越農業普及指導センター

1 籾黄化率

5月10日頃に田植えをしたコシヒカリ（出穂期8月1～3日）では、籾の約8割が黄化しており、刈り取り適期になっているほ場もありますが、ほ場間でのばらつきも大きくなっています。

表 9月4日現在の積算気温、籾黄化率、刈り取り適期予想

品種	地点	田植	出穂期	出穂期後 積算気温※	籾黄化率	刈り取り 適期予想
コシヒカリ	下稲塚	5/12	8/3	859	83	9/7
	南新保	5/10	8/1	901	88	適期
	吉崎	5/12	8/2	902	76	9/8
	上百々	5/24	8/6	785	74	9/10

※ 現地ほ場に設置した積算温度計の実数値

2 今後の管理

(1) 適期収穫

- ア 籾黄化率が85～90%に達した時期が収穫の適期となります。出穂期後の積算気温をめやすとして活用し、実際の収穫適期はほ場ごとに籾黄化率を確認して判断しましょう〔積算気温表は、普及指導センターHP (<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/jouetu-fukyuusennta/>) で公開しています〕。
- イ 9月2日に異常高温と著しい乾燥が発生し、こしいぶきの胴割粒発生^{の危険水準を超える日平均飽差となりました}〔詳しくは、「異常高温・高飽差緊急情報 第1号 (<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/464159.pdf>)」を参照〕。また、新潟地方气象台が発表した北陸地方の1か月予報(9/6-10/5)によると、10/5まで気温の高い状態が続く見込みです。刈り遅れによる胴割粒や基部未熟粒の発生を防ぐため、計画的に収穫作業を進めましょう。

(2) 水管理

- ア 稲の活力を維持するため、出穂期25日後までは地域の番水計画等を確認し、計画的に飽水管理を継続しましょう。また、暑いときに深水にすると根腐れを助長し、収量・品質の低下につながるので、湛水するときは3cm程度の浅水にしましょう。
- イ 台風等の影響で乾燥した強風や極端な高温が予想される場合は、白穂等の発生を防ぐため早めにかん水しましょう。

※限りある農業用水は地域全体で大切に使い、かけ流しは絶対にやめましょう。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしましょう。

<参考>コシヒカリ粳黄化率

➤ 下稻塚 [出穂期後積算気温 859℃、粳黄化率 : 平均 83%]



➤ 南新保 [出穂期後積算気温 901℃、粳黄化率 : 平均 88%]



➤ 吉崎 [出穂期後積算気温 902°C、糊黄化率：平均 76%]



➤ 上百々 [出穂期後積算気温 785°C、糊黄化率：平均 74%]

